


# ヒマラヤ 国際映画祭

HIMALAYA FILM FESTIVAL

TOKYO 2010 11/19 FRI ~ 21 SUN

会場：国立オリンピック記念  
青少年総合センター  
カルチャー棟1階小ホール（東京・代々木）



 Himalaya Archive Japan

主催：NPO 法人ヒマラヤ・アーカイブ・ジャパン  
協力：ヒマラヤ・アーカイブ・ネーデルランド（オランダNGO）  
後援：ネパール大使館、オランダ王国大使館、  
日本ネパール協会、日本ブータン友好協会  
協賛：アルパインツアーサービス株式会社

JAPAN FOUNDATION  国際交流基金

ヒマラヤ国際映画祭は、ヒマラヤの尽きせぬ魅力、価値を、世界各国の優れたドキュメンタリー映画を通じて世界の人々に伝える映画祭です。オランダのNGOヒマラヤ・アーカイブ・ネーデルランドが2003年よりアムステルダムで開催し、日本では私たちヒマラヤ・アーカイブ・ジャパン(HAJ)が2006年より開催してきました。東京では今年が3回目の開催になり、貴重な新作、招待作品など21作品を上映します。

作品の舞台は、エベレストを有するネパール、チベット、インド、ブータン、パキスタンに及び、さながらヒマラヤの雄大な自然と人間とが織り成す壮大なドラマを体験することができます。世界規模でのさまざまな問題解決が求められている現代に“地球を考える ヒマラヤから考える”をコンセプトに、地球温暖化、民主化、紛争、チベット問題など、ヒマラヤから発せられている様々なメッセージをお届けいたします。

## エベレスト 平和の頂

ナレーション：  
オランダ・ブルーム

English Available Everest: A Climb for Peace

監督：ランス・トランパル 2007/アメリカ/63分



紛争の対立を超え、一つの目標に向かって共に世界最高峰をめざすクライマーたちの真実の物語。

世界から集まった9人の“平和のクライマー”が世界最高峰エベレストの頂をめざす！国籍、言語、信仰など、様々な異なる背景を抱えるチームだ。このチームを象徴する存在、それがパレスチナ人とイスラエル人のクライマーだ。長年、戦闘を交える両国のクライマーは共に平和の登山を成功に導くことができるのか…。オランダ・ブルームがナレーターとして参加したことも話題を呼ぶ。ダライ・ラマが「偉大なる業績」と讃えた感動作、日本初公開。

## ヒマラヤの匠 ～ブータンの忘れられた宝～

English Available Forgotten Treasures

監督：シオク・シアン・ペク・ドルジ/2008/ブータン/39分



ブータン王国の建造物が修復される感動のプロセスを収めた貴重なドキュメンタリー

ブータンの歴史的建造物がアメリカの財団と外国人技術者の力を借りて修復される事になった。だが、ブータンの人々は今ひとつ納得いかぬ顔。何故か？ブータンでは古い建物は崩壊させた後に豊富な木材を使って再建築するのが流行だったのだ。しかし今回は、地元の人々の協力も得て、修復作業がはじまる。建造物や壁画など仏教文化遺産が蘇り、新たな光を放つことに。そして、ブータン人のアイデンティティ(民族性)は後世へと受け継がれていく。

## 花嫁の峰 チョゴリザ

招待作品

製作：堀場伸世/1959/日本/63分



わが国の学術探検調査と文化人類学の黎明を捉えた、ホンモノの探検映画

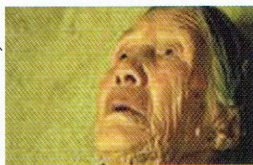
世界の先進国による秘境探検ラッシュに沸く1958年、梅棹忠夫ら京都大学士山岳会は、日本の威信を賭けてカラコルム山脈の処女峰チョゴリザに挑むことになった。ふもとまでの数十日に渡るキャラバン、予想外の地形や天候…チームは幾多の困難を乗り越え、遂に登頂に成功する。日本の探検史に輝く偉業を克明に捉え、その歴史的意義を伝える感動の記録映画。登頂の瞬間の超望遠撮影は当時の観客を驚かせた。本上映企画は今年逝去された梅棹忠夫氏に捧げられる。

## ナーガ族の叫び

招待作品 Naga Story: The Other Side of Silence

監督：ゴバル・メノン/2003/インド/62分

ナーガ族はインド北東部に暮らす先住民だ。その数、300万人。50年以上に渡り、民族自決権をインド政府に求め続けている。その結果、彼らは凄まじい暴力と人権侵害に晒されることになった。知られざる民族闘争を、インド人ジャーナリストが命をかけて告発。多くの困難を克服し5年もの歳月をかけて完成された衝撃のドキュメンタリー。



## ブータン-幸福への中道を行く

Bhutan - Taking the Middle Path to Happiness

監督：トム・ヴェンデッティ /2007/アメリカ/57分

ブータン王国。豊かな自然環境の中で人々の多くが今も伝統的生活を営む。政府は「国民最大幸福」という精神的な豊かさをめざす政策を打ち出し世界の関心を集めている。真の幸せを得るためには「中道」が大切だと言う。「中道」とは何か？ブータン人が持つ幸福観とは？



## メルトダウン 氷河融解

English Available Meltdown

監督：リチャード・ヒープ /2004/イギリス/50分

温暖化によって“世界の屋根”ヒマラヤの環境が深刻な危機に晒されている。この数十年間に氷河は急速に融けて後退し、氷河湖が随所に出現している。湖が決壊した時、村は瞬時に消える。国連調査隊が現地目撃したものとは…深刻な被害と恐怖を訴える驚愕のルポ。



## 神の車

On the road with the red god: MACHHENDRANATH

監督：ケサン・チェテン/2004/ネパール/75分

12年に一度、ネパールの首都カトマンズは人々の熱狂で沸き返る。20メートルを超える“神の車”が街を一ヶ月に渡り練り歩く国家的例祭「マツェンドラナート」が行われるのだ。喧騒と混沌からやがて融和と秩序が生まれるプロセスは圧巻。日本では貴重な完全版を上映。



## 思いを運ぶ手紙

Yi khel gi kawa (The Price of a Letter)

監督：ウゲン・ワン(20日シンポジウム・パネリスト) 2004/ブータン/70分

ブータン、標高4000メートルの山中にあるリンシ村。放牧など昔ながらの暮らしがある。テンジンはこの村の郵便配達員。26年間、10日以上かかる首都・ティンブーへの厳しい山中を毎月往復し手紙を届けて来た。都市と村の両方を見てきた彼の思いとは…。



## 自由に死す

Better to Have Been Killed

監督：ドルバ・バスネット(20日シンポジウム・パネリスト) 2007/ネパール/52分

内戦下のネパールでは、報道の自由は政府により著しく制限された。その状況に闘いを挑んだジャーナリストを待っていたのは、逮捕、そして拷問の数々であった。多くのジャーナリストの証言により、非常事態の中での報道の自由を巡る闘いを浮き彫りにする。



## 天国の森

English Available Timber to Tibet

監督：モハン・マイナリ/2004/ネパール/40分

ネパール・北ゴルカ地方、"天国"と呼ばれるシアラの森では、人々が豊かな森を古より尊んできた。しかし、貧困や生活スタイルの変化により、大木が次々と切り倒され金品に換わる。共存してきた村の間で争いも起こる…天国の森は一体どうなってしまうのか。



## 天空を駆ける

English Available Riding Solo To The Top Of The World

監督：ガウラヴ・ジャニ/2006/インド/90分

インド人ライダーが単独でムンバイより世界最高所の高原・チャンタン高原をめざし、5000キロの旅に出る！そこは平均高度4500メートル、冬には-40度にもなる過酷な場所だ。広大な自然、深遠なるチベット文化、遊牧民との交流の日々…奇抜な「一人撮影」によるロードムービーの傑作。



## チベットへのキックオフ

English Available The Forbidden Team

監督：アーノルド・クロイガード & ラスミス・ティネセン 2003/デンマーク/54分

2001年、デンマークで画期的な国際サッカーゲームが行われた。「グリーンランド VS チベット」。チベットは難民メンバーによる初の“ナショナルチーム”だ。中国政府による横やりが入るも、ゲームは決行。チベットサッカー史上初のゴールが生まれる！



## ◆ヒマラヤについて

ヒマラヤ地域は、インド亜大陸とチベット高原を隔てている東西2400km、南北250kmに及びヒマラヤ山脈とその周辺地域一帯を指し、インダス河、ガンジス河、長江の水源です。地域には世界最高峰のエベレストを初め7,000m以上の山が140以上ある上、大森林地帯には多種多様な動植物が生息しています。多様な民族が独自の文化・習慣を現在も保って暮らし、仏教・ヒンズー教はこの地域が発祥の地です。深遠な精神文化は世界の注目を集め、また、雄大な自然に挑む冒険家たちが世界中から訪れています。

ヒマラヤは、今日、地球上の共通の問題を映し出す“鏡”ともなっています。環境の変化が深刻で、地球温暖化により氷河が急速に融けつつあります。また上流域での開発が下流域で洪水を引き起こしています。さらに、チベット問題などの民族弾圧、紛争なども看過出来ない問題となっています。



## 稲妻の証言

招待作品 English Available The Lightning Testimonies  
監督：アマル・カンワル/2007/インド/113分



**紛争の中の暴力を詩的に描く大作。悲痛な歴史の中にも人間の強靭さと尊厳が輝く。**  
インド、40年代のインド・パキスタン分離独立から現在まで続く、紛争を背景にした女性への性暴力の戦慄の歴史。ナレーション、字幕、スケッチ、写真、無人の風景など様々な手法を駆使した表現で肉迫し、暴力の残虐さと女性たちの尊厳ある強靭な精神とを描く力作。美しい静寂の画と静かな声が暴力の惨さを一層際立たせる。様々な、時代、社会においてインド各地の個人や社会がいかに暴力に耐え、記憶に刻み、記録に残してきたかを入念にサーチを通して浮かび上がらせ、やがて苦難の先にある静かな祈りに至る。

## 盲目のクライマー

English Available Farther than the Eye Can See  
監督：マイケル・ブラウン/2003/アメリカ/75分

世界初、盲目の男性が世界最高峰・エベレストをめざす。氷河、垂直の岩壁など、死と隣り合わせの挑戦は、愛する妻も子どももいる彼にとって一体何を意味するのか。誰も想像し得ない感動と興奮がエベレストの頂きへと集約されていく。ハイビジョン撮影による世界最高峰の映像も美しい。



## 残すのは足あとだけ

English Available Leave Nothing but Footprints  
監督：サンジェイ・バーネラ(20日シンポジウム・パネリスト)  
2007/インド/36分

観光は地元の雇用を増やし国庫を潤す一方、ごみ、自然破壊、インフラ不足などの問題をもたらす。インド国内のヒマラヤの様々な観光地の現状と改善への取り組みを見つめ、自然・文化・経済に優しいエコフレンドリーな観光とは何かを考える。



## シアチェン-氷河の戦闘

English Available Siachen A war for Ice  
監督：フルヴィオ・マリアーニ & マリオ・カゼッラ  
2006/スイス/52分

ヒマラヤ山中、標高6000メートルに位置するシアチェン氷河を巡ってインドとパキスタンが20年以上戦闘を繰り返している。国境線なのだ。両国は自らの正当性を繰り返すばかり。この超高所での“馬鹿げた”戦闘の解決の糸口はあるのだろうか？



## 国際シンポジウム“ヒマラヤから現代社会を問う” 世界の矛盾とヒマラヤ文化の役割と可能性

本映画祭上映作品の作家や学術研究者など世界の有識者と共にヒマラヤの多様な価値と諸問題を考えて、現代社会におけるヒマラヤ地域の文化の普遍的役割のメッセージを世界に発信するシンポジウム。

The symposium: “Questioning the contemporary world from the Himalayan world: the contradiction in the global community, the possibility and role of the Himalayan culture.”

開催日時：11月20日(土) 午後6時～

※映画祭のチケットやフリーパスで入場できます。

パネリスト：サンジェイ・バーネラ  
(インド・ドキュメンタリー監督)

ドゥルバ・バスネット  
(ネパール・ジャーナリスト)

ウゲン・ワン (ブータン・映像作家)

南 真木人 (日本・国立民族学博物館 准教授)

辻村 優英 (日本・高野山大学 研究員・宗教社会学者)

コーディネーター：田中 邦彦 (日本・ジャーナリスト)

※当日は逐次通訳方式で日本語と英語に対応します。

※やむなき事情によりパネリストの変更が生じる場合もあります。

※本シンポジウムは独立行政法人国際交流基金の「知的交流会議助成プログラム」の助成を受けています。



サンジェイ・バーネラ ドゥルバ・バスネット ウゲン・ワン



JAPAN FOUNDATION

## 歌声はヒマラヤのあなたに

Bhedako Oon Jasto... in search of a song...

監督：キラン・クリシュナ・シュレスタ/2004/ネパール/56分

ヒマラヤ山中で聞いた民謡が忘れられないジャーナリスト。その歌を彼から聞いた友人のミュージシャンは新しいアルバムに収録することを切望する。一行はメロディに惹きつけられるようにヒマラヤの奥地へと民謡のルーツを探しに旅立つ…そこには数々の出会いが待っていた。



## 尼僧の智慧

Daughters of Wisdom

監督：バリ・パールマン/2007/アメリカ/70分

チベットの僧院では伝統的に男性が修行と教育の中心的な役割を果たしている。しかし、ナチェン地方のカロロゴ僧院では、前例の無いことに約300人の尼僧が修行と教育を受け、チベット文化を守る役割を担う。尼僧たちの知られざる日々々に密着した心を浄化するドキュメンタリー。



## チベット難民-世代を超えた闘い

Tibetan Refugees-A Struggle Beyond Generations

監督：田中 邦彦(20日シンポジウム・パネリスト)  
2002/日本/108分

チベットが中国に侵略され、ダライ・ラマがインドへ亡命してから既に40年。インド北西部のダラムサラに暮らす難民も既に3世代目だ。だが「第3世代」の未だ見ぬチベットへの思いは衰えを知らない。そして、若い世代を中心にチベット解放への願いを込めた「平和行進」が今始まろうとしている。



## コーラと少年

Journey of a Red Fridge

監督：ルシアン・マンティン& ナターシャ・スタンコヴィック  
2007/セルビア/52分

17歳のハリは学費と生活費を稼ぐために、ポーター(荷物運び)として働いている。今回の荷は巨大なコーラの業務用冷蔵庫。それをヒマラヤの山奥から麓の街まで運ばねばならない。彼の生活苦、将来の夢が、6万人とも言われるネパールの“子供ポーター”たちのそれと重なる…



## 遙かなるガンジス

English Available Indian Journeys: Shiva's Matted Locks

監督：ヒュー・トムソン/2000/インド/50分

ガンジス河で12年に一度催される大祭ークンブ・メラ。インド中から1千万人もの人々が一堂に会す。著名なスコットランド人の旅が今ここから始まる。めざすはヒンズー教の聖地・ヒマラヤ山中のガンジス源流…。聖と俗、神秘と現実が交差する現代インドの聖地巡礼のありのままを描く。



## ヒマラヤ国際映画祭WEST JAPAN 2009の会場アンケートより

- 心が熱くなりました。2009年ヒマラヤ国際映画祭 WEST JAPAN→
- すばらしい活動!心から応援しています。
- マスコミで報道されないニュースをこれからも発信してってください。
- 世界各地の人間の生き方を、映画の持つ力で世界の多くの人に発信されたい。
- 普通では見ることができない貴重な映像を見ることができ、とても感銘を受けました。
- チベット映画は見たことがありましたが、今回ほど幅広く、ヒマラヤの山岳周辺地域の様々な国、文化、テーマでの映画をまとめてみる機会はありませんでした。



ヒマラヤ・アーカイブ・ジャパン(HAJ)は、「地球を考える ヒマラヤから考える」をコンセプトに活動するNPOです。世界各国の映像作家・ジャーナリスト・専門家・会員及び一般の方々と連携・協力し、環境・文化・人権に関する幅広い分野での映像作品の上映や提供、アジアの映像作家の養成・支援を柱とする国際協力、ヒマラヤ地域の地球温暖化の影響並びにガンジーの「非暴力」思想を含むヒマラヤの精神文化の今日的意義についての映像調査研究などを行なっています。

野での映像作品の上映や提供、アジアの映像作家の養成・支援を柱とする国際協力、ヒマラヤ地域の地球温暖化の影響並びにガンジーの「非暴力」思想を含むヒマラヤの精神文化の今日的意義についての映像調査研究などを行なっています。



■スケジュール

日 時	セクション	プログラム
19日 金	10:00 セクション1	チベットへのキックオフ (54分) (途中休憩) 遙かなるガンジス (50分)
		(休憩)
	12:40 セクション2	メルトダウン—氷河融解 (50分) (途中休憩) 尼僧の智慧 (70分)
	15:10 セクション3	コーラと少年 (52分) (途中休憩) シアチェン—氷河の戦闘 (52分)
	17:20 セクション4	天空を駆ける (90分)
20日 土	19:10 セクション5	稲妻の証言 (113分)
	10:00 セクション6	天国の森 (40分) (途中休憩) 残すのは足あとだけ (36分) & 監督トーク
		(休憩)
	12:20 セクション7	チベット難民 世代を超えた闘い (108分) & 監督トーク
	14:40 セクション8	自由に死す (52分) & 監督トーク (途中休憩) 思いを運ぶ手紙 (70分) & 監督トーク
	(会場設営のため休憩: 約40分)	
	18:00 セクション9	国際シンポジウム “ヒマラヤから現代社会を問う” 終了予定時刻 20:50
21日 日	10:00 セクション10	盲目のクライマー (75分) (途中休憩) 歌声はヒマラヤのかなたに (56分)
		(休憩)
	13:20 セクション11	エベレスト 平和の頂 (63分) (途中休憩) ブータン: 幸福への中道を行く (57分)
	15:50 セクション12	花嫁の峰チゴリザ (63分) (途中休憩) ナーガ族の叫び (62分)
	18:30 セクション13	ヒマラヤの匠 (39分) (途中休憩) 神の車 (75分)

◆お知らせ◆

19日と20日に国立オリンピック記念青少年総合センター内宿泊棟(シングル)でのご宿泊を希望される方の予約代行を承ります。  
 お一人様1泊3,500円(洋室シングルのみ・代手手数料込み)  
**【申し込み方法】**  
 映画祭ウェブサイトの問い合わせフォームで、以下の事項を明記し、11月14日までに申し込みください。また、宿泊費をHAJに事前にお支払い下さい。  
 (支払い方法は左下のチケット支払いと同じです・振込み手数料はご負担下さい・キャンセルはできません)  
 ①申込者氏名、②予約日、③予約日ごとの予約人数、④宿泊者名(予約日ごと)、⑤申込者連絡先  
 トイレ、洗面所、浴室は共同です/会場全体が研修施設ですのでホテルに類するサービスはありません。ご注意下さい。/敷地内に飲食施設(7:00~23:00)やコンビニ(7:30~21:50)があります。

会期中すべての映画と国際シンポジウムをご覧いただけるフリーパスが **3,500円**

【料 金】

チケット種	前 売	当 日	
A 1セクション鑑賞券	1,200円	1,500円	タイムテーブルの中のお好きな1セクションをご覧いただけるチケットです。
B 賛助会員フリーパス	3,500円	4,000円	賛助会員としてHAJにご入会いただくと、3日間の映画上映と国際シンポジウムの13セクションに自由に入場できます。会員証は入会日から1年有効・他特典有。

\*1セクションごとに入れ替えとなり、フリーパス(B)以外の方はセクションごとにAのチケットが必要となります。  
 \*当日の入場料お支払いは寄付として受け付けさせていただきます。当日券受付でお支払い下さい。釣銭のないようお願い申し上げます。  
 \*会場(380席)は余裕をもってありますが、万が一満席となった場合は消防法に則り、入場をお断りする場合がございます(フリーパスの方も同様です)。またその際もAの鑑賞券の払い戻しはいたしません。お早めに会場にお越し下さい。  
 \*HAJには上記の他、法人運営に関わることができる正会員(年会費6,000円)もございます。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

前売購入の方にもれなくヒマラヤ国際映画祭TOKYO2010缶バッジをプレゼント!

当日、チケットや会員証と共に会場受付でお受け取り下さい。  
**A**の方: 映画祭缶バッジを1枚につき1個差し上げます  
**B**の方: 映画祭缶バッジ+お楽しみデザインの2個セットを会員1名様につき1セット差し上げます。

前売チケットの購入や会費の事前支払いについて以下の2つの方法からお選び頂けます。

1) クレジットカードでのお支払い

(映画祭ウェブサイトからの申し込みになります)

VISA MasterCard 決済金額下限は2,000円となっております。クレジットカードでAのチケットをお求めの方は2枚以上ご購入下さい。

11月17日(木)までに映画祭ウェブサイト内の申し込みフォームからお申し込みの上、visaかmasterでお支払いください。ご入金を確認次第、チケットもしくは会員証の引き換えナンバーをメールにてお送りいたします。当日会場の受付でお名前と受付ナンバーをお伝えください。チケットや会員証をその場でお渡しいたします。

HAJは、日本財団が提供する公益事業コミュニティサイト「CANPAN(カンパン)」に加盟しています。HAJへのクレジットカードによるご入金は、CANPANが運営するクレジット決済システム(CANPANペイメント)で安心かつ簡単に行うことができます。

2) 銀行及び郵便局での振込によるお支払

11月17日(木)までに映画祭ウェブサイト内の申し込みフォームかファクス、郵送にて、必要事項をお書きの上お申し込みください。併せて下記のいずれかの口座に代金をお振込みください。ご入金を確認次第、チケットもしくは会員証の引き換えナンバーをメールにてお送りいたします(郵送・ファクスでお申し込みの方はハガキで当日引換券をお送りします)。当日会場の受付でお名前と受付ナンバーをお伝えください(郵送・ファクスでお申し込みの方はハガキをお持ちください)。チケットや会員証をその場でお渡しいたします。

【指定口座】

口座名義(各口座共通)	特定非営利活動法人ヒマラヤ・アーカイブ・ジャパン		
ジャパンネット銀行 (0033)	本店営業部(店番号 001)	普通	1367191
三菱東京UFJ銀行 (0005)	町田駅前支店(623)	普通	4772676
ゆうちょ銀行	〇二八(ゼロニハチ)	普通	8400744

必要事項(ファクス、郵送の方)

- ①氏名 ②住所 ③電話番号 ④ファクス番号
  - ⑤チケットの種類と各購入枚数(アルファベットAかBを明記)
  - ⑥合計金額 ⑦複数人数入会の場合はすべての方の氏名と住所
- 送付・送信先: 右記のヒマラヤ・アーカイブ・ジャパン事務所

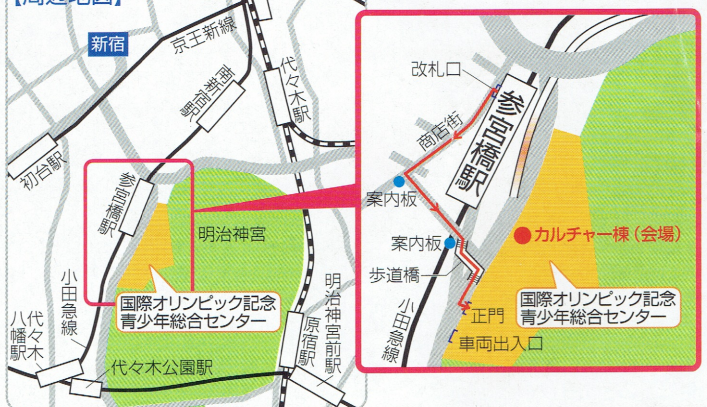
【会 場】

国立オリンピック記念青少年総合センター  
 カルチャー棟1階小ホール(東京都渋谷区代々木)

敷地内にはコンビニ、飲食店もあります。会場内はバリアフリー対応です。

- 新宿駅から: 小田急線各駅停車に乗り、2駅目(約3分)で参宮橋駅下車・徒歩約7分
- 小田急線: 参宮橋駅下車 徒歩約7分
- 地下鉄千代田線: 代々木公園駅(C02)下車(代々木公園方面4番出口)徒歩約10分

【周辺地図】



【お問合せ】

ヒマラヤ国際映画祭TOKYO2010公式サイト  
<http://www.himalaya-japan.net/hfft10/>  
 特定非営利活動法人ヒマラヤ・アーカイブ・ジャパン  
 Mail: biz@himalaya-japan.net  
 〒106-0047 東京都港区南麻布4-5-6

【お問合せ】

ヒマラヤ国際映画祭インフォメーション・サービス  
 TEL: 090-3845-1595 (10:00~17:00)  
 FAX: 03-6671-2181

